

宣言！
祈ろう そして
復活を誓おう

医療法人東西会
「世界に向けてのメッセージ」

SHOW THE FLAG!!
未来からの明かりを照らす！

人生100年時代の道しるべ

第46回

～いつまでも健康で暮らすために～

SHOW THE FLAG!!

「一人の生命は全地球よりも重い」

これはイギリスの作家サミュエル・スマイルズが提唱し、日本においては、1977年のダッカ日航機ハイジャック事件の際に、福田赳夫元首相が述べた言葉です。また、私の精神の支柱となっている大切な言葉でもあります。自明のことではありますが『生命の価値』が最優先であるという視座を第一に見据えた『改革』、そして『実践』。これこそが私の目指す「令和維新」です。



私たち医療・看護・介護チームは社会保障を効率化することが急務であると考えています。現在松山市の人口は約50万人で、そのうち要介護(支援)認定者は約3万人以上といわれています。いまこそ病診連携を改めて考えるべきではないかと思っています。

「高度急性期病院」では救急対応や感染症対策、その他さまざまな急性期の医療を行い、診断や急性期の治療を受け、症状が安定したのち「かかりつけ医」に再び紹介します。「かかりつけ医」は、患者さまやそのご家族の希望に応じて看護・介護・見守りなどが対応できる入居先の施設での診療や、当然居宅での診療も可能です。こうして「高度急性期病院」と「かかりつけ医」それぞれが互いに補う形で、地域を支える地域包括型医療を実行するべきだと考えています。

私が考える6つの喫緊の課題

- ① 不況
- ② 災害
- ③ 戦争・テロ
- ④ 感染症 (COVID-19、インフルエンザなど)
- ⑤ 地球温暖化・沸騰化
- ⑥ 財政 (健全化・規律)

これらの課題は常につきまとっています。しかし、こういった課題を解決していくことが新たな成長の可能性を秘めているのではないのでしょうか。つまり、今までのやり方ではなく、新たな価値(価値の転換=パラダイムシフト)をつくることで新たに成長(これを「異成長」という言い方もあるようです)するのではないかと思います。

人生100年の時代といわれている近年なぜ人の人生は100年なのか？

① テロメア・テロメラーゼ

テロメアとは、染色体の末端にある構造で、細胞の老化や寿命に関与していると考えられています。またテロメラーゼは染色体DNAの末端にあるテロメアを伸長させる働きを持つ酵素です。

② 文化継承

多くの動物では後生殖期は最長寿命のただか10%程度なのに、ヒトではその4倍以上あるのはなぜか？“生命科学分野の論文”にはその大事な理由の一つに『文化継承』が関わっているのではないかとあります。

上記①②が関係しているのではないかと私は考察しています。

現代は不況・災害・感染症・戦争・テロなどがまん延し、暗黒の時代の様相を呈しています。まさに混沌の世紀ともいえるでしょう。

国の一般会計(2024年度予算)の歳出総額は112.5兆円であり、そのうち社会保障費は37.7兆円で全体の33.5%を占めています。あくまで私の試算ではありますが、この社会保障費の33.5%について団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる「2025年問題」。

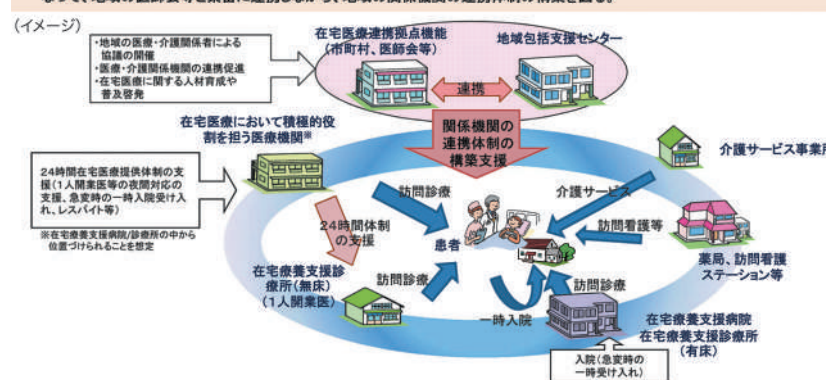
これは団塊の世代の有病率が高まり、社会保障関係費が一般会計歳出の40%を超え、今後20年ほどは財政規律がおよびやかされるのではないかと危惧しています。今こそ私たちは、価値の転換すなわち「パラダイムシフト」で困難に向かって立ち向かう勇氣が必要です。

2025年問題

患者さま中心の医療体制
在宅医療を中心に病院治療が補完

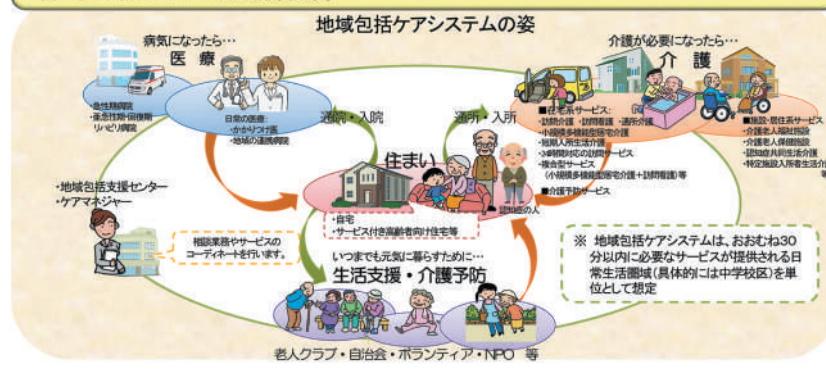
在宅医療・介護の連携推進の方向性

- 疾病を抱えても、自宅での住み慣れた生活の場で療養し、自分らしい生活を続けるためには、地域における医療・介護の連携(※)が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を行うことが必要である。
- (※) 在宅医療を支える関係機関の例
 - ・地域の医療機関(定期的な訪問診療の実施)
 - ・在宅医療支援施設(診療所(有床)(急変時に一時的に入院の受け入れの実施)
 - ・訪問看護事業所(医療機関と連携し、服薬管理や点滴、褥瘡の予防、洗滌等の看護ケアの実施)
 - ・介護サービス事業所(入浴、排せつ、食事等の介護の実施)
- このため、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するため、市町村が中心となって、地域の医師会等と緊密に連携しながら、地域の関係機関の連携体制の構築を図る。



地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が概ね75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進捗状況には大きな地域差が生じています。



出典/厚生労働省HPより

(施設・居宅での)在宅医療・介護を中心に病院治療が補完
=在宅医療・介護を国は推進している

2025年には団塊の世代が75歳以上となるため、社会保障関係費が一般会計歳出の40%を超え、財政破綻が起きないようにしなければならないと思っています。厚生労働省としては424公立・公的病院に再編検討などの医療政策もなされています。

無料動画共有サイトに
右の動画を公開中！
ぜひ、ご覧ください。



令和の時代
コロナ・災害・不況の嵐だ！



生きる証もない暗黒時代



しかし、朝の来ない夜はない！



今、私たちは立ち上がった！
どないかせんといけん



令和 プロジェクトフューチャー！
プライドをかけて発信す



私たちは「社会保障領域のブランド」
医療法人東西会グループです！

お医者さんが来てくれる！

365日・24時間体制で対応
(松山市全域)



医療法人 東西会グループ
外来診療 (かかりつけ医) **内科** 要予約
内科・外科・麻酔科・ペインクリニック内科
(医師/薬村 歩)

私たちは、質の高い
在宅医療・看護・介護 を目指しています。

在宅医療の範囲は、医療機関と患者様の所在地が半径16km以内と
されています。
※特段の理由や事情がある場合は、この限りではありません。



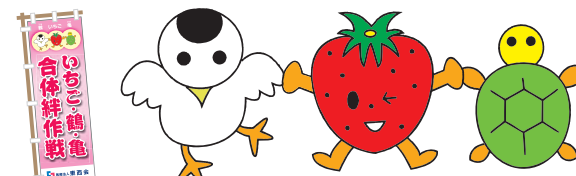
医師数 22名
(令和7年6月現在)

末期がん治療
(緩和ケア)
相談室開設！

安全・安心・健康塾

〈ボランティア活動〉

人の命は、呼吸停止、心停止後5分間で死に至ります。
(5分間ルール)
現場の人達を救命救急士として教育する
「安全・安心・健康塾」の出張講義を
ボランティアで行っております。



全人的な痛み (Total Pain)

- ① 肉体的な痛み (physical pain)
- ② 心理的な痛み (psychological pain)
- ③ 社会的な痛み (social pain)
- ④ 文化的な痛み (cultural pain)
- ⑤ スピリチュアル(霊・魂)な痛み (spiritual pain)

参照/介護支援専門員基本テキスト

(医)東西会イメージキャラクター
「イチゴ・ツル・カメ」
三世代の『絆』を表すキャラクターです。
イチゴはこどもたち、ツルはお父さん・お母さん、
カメはおじいちゃん・おばあちゃんを表しています。

東京大学医学部臨床研究協力機関 愛媛大学医学部臨床研究協力機関
大阪医科大学(研修医・医学生)在宅医療研修・研究協力機関 関西医科大学との在宅医療研修・研究協力機関

機能強化型・有床 在宅療養支援診療所 (医)東西会 千舟町クリニック

松山市千舟町6-4-9 ☎089-933-3788
http://www.touzaikai.jp/